移住コンシェルジュのぶらり鹿角散策 Vol.2

ハキハキ

今回は、JR花輪線の旅をお届けします。普段は車移動が多く、なかなか乗る機会がない汽車ですが、乗らないと発見できなかった魅力がたくさんありました。

市内の土深井から湯瀬までを繋ぐ7つの駅を巡りながら、移住者である私たち移住コンシェルジュが、同線の魅力に迫ります。

「十和田八幡平四季彩ライン」の愛称を持つ花輪線。ローカル線ならではのゆったりとした時間の流れと、美しい四季折々の景色を見に足を運んでみませんか。

乗って分かった！イチ押しスポット

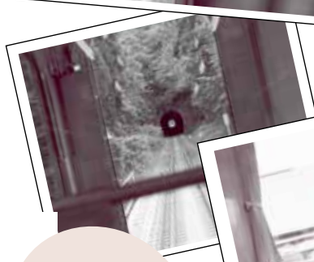
勝又コンシェルジュ

八幡平駅から湯瀬温泉駅まではカーブが多く、わくわくするトンネルが！

思わず運転士さんの後ろに立ち、子どものように見入ってしまいました。

またこの2つの駅では、昔の交換駅だったころのホームを見ることができますよ。

汽車の待ち時間を周辺の飲食店で過ごしたり、桜並木や季節の花々を眺めたり楽しみ方もいろいろです。次回は温泉に入り、帰りは渓谷を眺めながらお酒を片手に旅をしたいです。



菅原コンシェルジュ

末広駅には、初めて降り立ちました。駅の待合室には、今年度をもって閉校してしまう末広小学校の校報「すずかけ」がたくさん展示されています。地元の方の思い入れが、駅にまであふれ出ていることにホッコリしました。

末広駅（上り）を出発すると、米代川を眺められるポイントに。車窓からの美しい景色を見ていると、特別に優雅な時間をもらったように感じました。

南雲コンシェルジュ

陸中大里駅には、ホームに上がる前に、線路と同じ目線から汽車を見る事のできる撮影スポットがありました。都会では、線路が足元よりも下にあることが多く、目線の高さで汽車を見ることができないので、都会とは違った撮影の楽しみ方を発見しました。

細長いホームの端から待合室方向へ目を移すと、田園風景と盆地のキレイな山並みに、絶妙なバランスで駅のホームが溶け込み、「鹿角の盆地はやっぱり最高だな」と感動しました。

キレイな待合室には可愛い色のベンチが4つ。さあ、汽車を待とう。

鹿角花輪駅 秋本駅長

花輪線には、全国でも珍しい行き止まり駅の十和田南駅があり、スイッチバックが見られるなど、特徴あるローカル線です。

地域の方々が、駅の花壇の手入れをしてくれたり、待合室を飾ってくれたりと、地域の愛を感じます。JR社員は鹿角花輪駅に5人いますので、ぜひ会いに来てください。

スイッチバック

移住者紹介

鹿角市に新たな仲間が増えました

千葉県からUターン
阿部（あべ）俊輔（しゅんすけ）さん
智佳子（ちかこ）さん

高校を卒業後、盛岡の専門学校を経て国家資格を取得し、千葉の整骨院で修業しました。そこで出会った師匠から技術や経営を教わる中で、いつしか私自身も開業したいと思うようになり、地元を出て10年という節目に鹿角で整骨院を開くことを決意しました。

私も妻も鹿角出身なので、お互いの家族にすぐに会いに行けることや、子どもの頃に見ていた地域行事に今度は自分自身が参加し、子どもたちに伝えていけることも嬉しいです。開業をして5カ月が経ちますが、お陰さまで充実した毎日を過ごしています。

患者さんと話をしていると、花輪高校の同級生であったり、恩師の知人であったりと、多くの繋がりがあることに驚きます。ご縁があって足を運んでいただけることがありがたいです。

移住を考えている方は、規模は違うかもしれませんが、鹿角にはチャレンジできる環境と、背中を押しサポートしてくれる人たちがいるので、ぜひ鹿角で楽しんでもらいたいです。これからも応援してくださる方々に感謝し、頑張っていきたいです。